

愛・地球博記念公園 公園マネジメント会議
令和元年度「第2回総会」

～県民と行政のパートナーシップにより、公園利用者の満足度向上等を目的に、
利用者目線で公園の管理運営を行う協議・実践の場～

日時 令和2年1月28日(火) 14:00～16:30

場所 愛・地球博記念公園 地球市民交流センター 体験学習室 2・3

次 第

1 あいさつ 5分(14:00～)

2 議題 (14:05～)

(1)令和元年度評価委員の選出について(承認) 5分 資料1

3 情報共有 (14:10～)

(1)情報共有にあたり、会員で共有したいこと 15分 資料2

(2)分科会の活性化を図ろう! 15分 (15:25～) 資料3

(3)活動に対する協力体制について 15分 (15:40～) 資料4

休憩(10分)

(4)公園マネジメント会議の意義と仕組み 60分 (15:05～) 資料5

・グループで話し合います!

4 会員情報 (16:05～)

(1)知っていましたか?〇〇

横浜ゴム株式会社 新城工場 10分 資料6

(2)分科会活性化プロジェクト

イベント企画運営実行委員会(モリコロパーク秋まつり 2019 結果) 10分 資料7

5 あいさつ 5分(16:25～)

※17:00～18:00 同会場にて「会員交流会」を行います。

令和元年度 評価委員の選出について

評価委員会委員の選出について

「愛・地球博記念公園 公園マネジメント会議」運営ルールブックに基づき、当年度の活動の公正な判断の根拠として、公園マネジメント会議(以下、「本会議」とする。)が設置する評価委員会による評価をあてる。

NPO、ボランティア団体、サークル等から1名

企業、大学、研究機関等から1名

行政から1名

指定管理者から1名

以上を含む、計5名程度の委員とする。

立候補者等の中から事務局が案を作成し、コア会議(今年度は総会)での承認を得る。



目的

本会議の評価委員会は、本会議の当年度活動内容の公正な判断の根拠として、「活動結果の評価」を行い、本会議の目的の実現に向けた達成度を測ることを目的とする。

本会議の会員は、本委員会が決定した「活動結果の評価」を尊重し、翌年度以降の活動内容へ反映していくものとする。

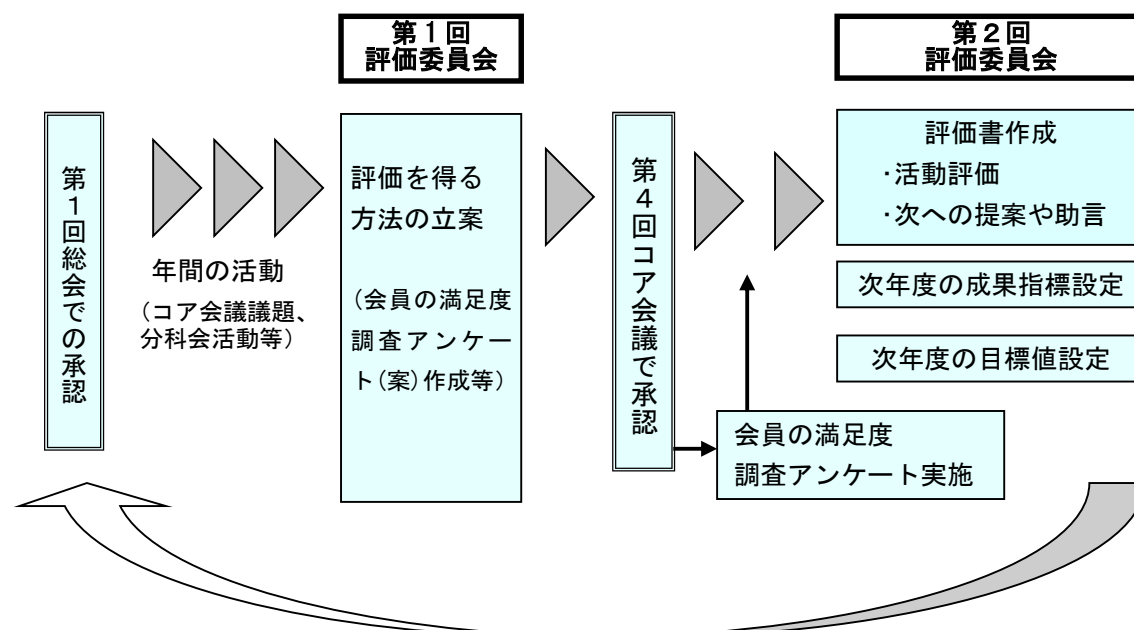


業務（具体的な作業）

評価委員会の業務は、以下の3つを基本とする。

- ① 令和元年度の「成果指標」に対する具体的評価を得る方法(アンケート調査等)を立案する。
- ② 令和元年度の本会議の活動結果を評価するとともに、令和2年度の活動に対する提案や助言を「評価書」にまとめ、令和2年度第1回総会で承認を得る。
- ③ 令和2年度の本会議の「成果指標」と「目標値」を設定し、令和2年度第1回総会で承認を得る。

<委員会の業務イメージ>



令和元年度評価委員会スケジュール（設置期間と開催回数）

① 設置期間

評価委員会の設置期間は、令和2年1月から5月までの約5ヶ月間とする。

② 開催回数

評価委員会の開催回数は、2回程度の予定である。（2月、5月）

③ 業務内容

活動結果の「評価」をおこなうとともに、次年度の活動への提案・助言をおこなう。
令和2年度第1回総会に「評価書(案)」として提示し、承認を得る。

④ スケジュール

<委員の募集・決定>

評価委員会委員の募集 令和元年11月29日～12月13日

評価委員会委員の決定 令和元年度 第2回総会（令和2年1月下旬）

<評価委員会>

第1回（2月中旬）

- ・評価方法の検討
- ・「会員の満足度調査アンケート」の内容検討

第2回（5月中旬）

- ・令和元年度の活動結果の評価、令和2年度の活動に対する提案や助言の検討
- ・評価書（案）の作成
- ・令和2年度の成果指標と目標値（案）の作成

<評価書の承認>

令和2年度第1回総会 令和元年度「評価書」の承認

（6月上旬） 令和2年度「成果指標」と「目標値」の承認

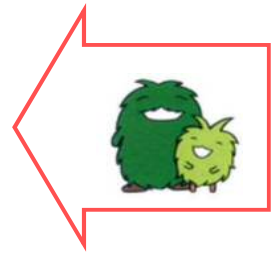
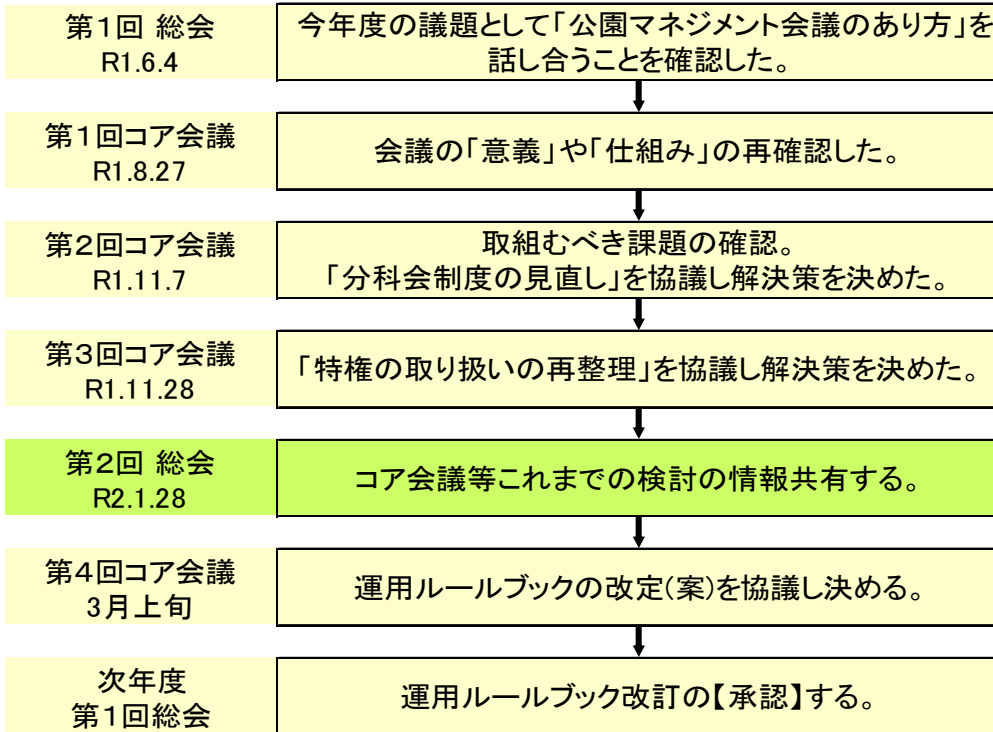
事務局提案委員

分野	立候補者	事務局推薦
NPO,ボランティア団体、サークル等	日本食育健康新聞社	インタープリターズ・ユニット 森あそび本舗
企業、大学、研究機関等		長久手 Studio 株式会社中島工務店
行政		長久手市役所
指定管理者	公益財団法人愛知公園協会 公益財団法人愛知県都市整備協会	
小計	3	3
合計		6

上記6名を今年度の評価委員会の委員とすることを事務局から提案します。

(1) 情報共有にあたり、会員で共有したいこと

第1回総会で、令和元年度は「公園マネジメント会議のあり方」を再度話し合おう！と決めました。その後、コア会議では以下のような協議をしてきた。



(2) 分科会の活性化を図ろう！ (3) 活動に対する協力体制について

第2回、第3回のコア会議で、「公園マネジメント会議のあり方」を話し合う上で、課題を絞って協議することとした。そこで、[課題1：分科会制度の見直し]、[課題2：特権の取り扱いの再整理]について議論しました。

(4) 公園マネジメント会議の意義と仕組み

第1回コア会議で、以下の2つのテーマについて話し合いました。活動の意義や活動内容を話し合うことで、公園マネジメント会議についての理解を深めて行きたいと思います。

【テーマ1】公園マネジメント会議の意義

プログラム

説明（5分）

セッション1（15分）テーブル毎にグループワーク

全体共有1（10分）各テーブル毎に発表

【テーマ2】公園マネジメント会議の仕組み

プログラム

説明（5分）

セッション2（15分）テーブル毎にグループワーク

全体共有2（10分）各テーブル毎に発表

(2) 分科会の活性化を図ろう！

第2回コア会議で、分科会制度の見直しを行いました。

分科会は、総会やコア会議で協議したことを実践する組織であり、公園マネジメント会議において、大切な役割を担っている。そのため、以下の内容を取り組むことで“活動の活性化”と“情報の共有化”を図ることとする。

1 活動を終えた分科会は完了とする。休止している分科会は廃止とする。

- ・終わる手続きが明確でない⇒分科会の完了及び廃止のルールを作る。
- ・活動が無い(計画及び報告書が提出されない)分科会は廃止とする。
- ・評価委員会で活動状況の評価を行い。総会で活動の承認を行う。

2 分科会は活動計画及び実績の報告の提出する！

- ・分科会活動の計画、結果、参加・協力の募集に関する情報を全体で共有する。

3 各分科会の活動情報を共有しよう！

- ・第1回総会、SNSなどで各分科会の活動内容を紹介する。
- ・地球市民交流センター内に公園マネジメント会議の掲示板を設置し、分科会一覧、活動に関する募集などを掲示しPRする。
- ・Webページの充実を図る。



◆分科会活動の流れ

2月～3月 分科会

「年間活動報告・活動計画書」の作成

3月 第4回コア会議

↓【提出】

各分科会から提出のあった「年間活動報告・活動計画書」を受け取り、必要に応じて次年度のコア会議で協力する。

5月中旬 評価委員会

↓【提出】

「年間活動報告・活動計画書」を基に分科会の評価を行う。
※活動していない分科会、「年間活動報告・活動計画書」の提出のない分科会は廃止対象とする評価基準を設ける。

6月上旬 第1回総会

↓【評価結果の提出】

評価委員会の結果を受けて、分科会の年間活動を承認する。
※各分科会が提出した「年間活動報告・活動計画書」で全会員が情報を共有する。
※各会員は、協力できる内容に積極的に協力する。

分科会

↓【年間活動の承認】

公園マネジメント会議の分科会として活動を行う。
※会員への情報提供、協力依頼は、必要に応じて随時行う。
※会員は、協力できる内容に積極的に協力する。

※フローの内容は、運営ルールブックに追記して、次年度第1回総会で承認をえる。

※今回の見直しで、全ての分科会を一旦解散して、今後も活動の意思がある分科会は、再度、活動計画を立てて設立する。

※その後は、毎年、活動報告の提出をお願いします！！

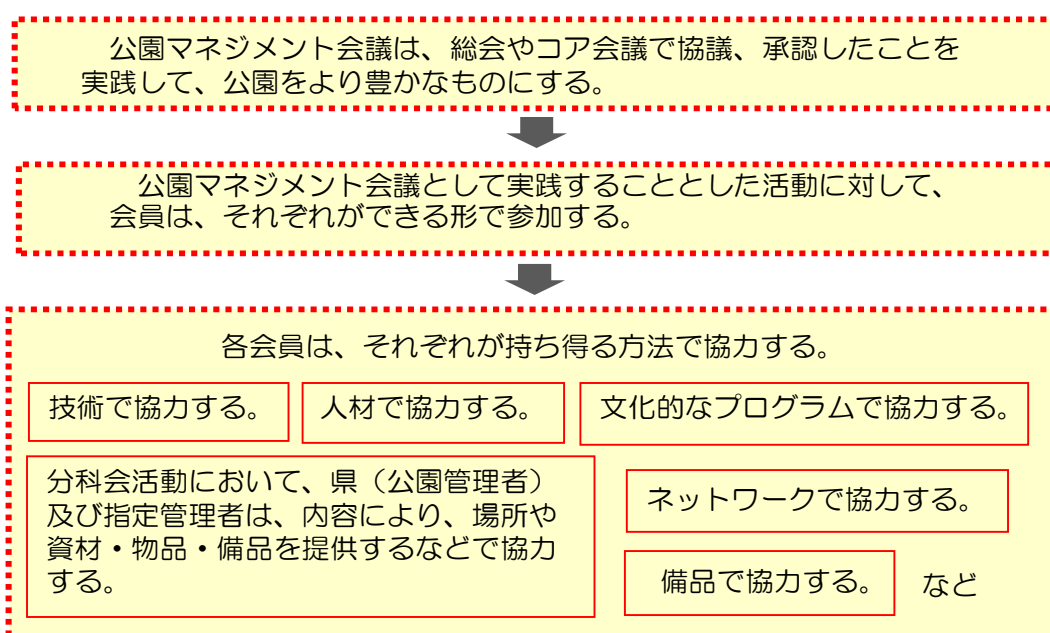
(3) 活動に対する協力体制について

第3回コア会議では、活動の協力体制について議論しました！

皆さんから、地球市民交流センターの先行予約について「自分たちの団体の活動で利用している。」「公園マネジメント会議の活動のために使われていない。」などの意見があり、これら特権的な取り扱いを再整理しました。

公園マネジメント会議としての活動は、“公園来園者のために何が出来るか”を考えて行うものであり、各自の団体が有利になることを優先して考えるものではない。そこで、特権的になっている取り扱いを以下のとおり見直しました。

特権的な取り扱いとなっているが、本来あるべき取り扱いは!?



再整理の概要

会員は、 地球市民交流センターの12ヶ月前から先行予約ができる。	対象を「会員」から「分科会」に見直す。
分科会は、 ネットあいち等で予約する有料施設の優先予約ができる。 (内容や場所など調整が付いた場合に限る)	現状維持。 ただし、手続きの見直しは行う。
分科会は、 公園管理事務所のコピー機を無料で使用できる。 (年間の上限あり)	現状維持。 ただし、手続きの見直しは行う。
分科会は、 公園管理事務所で備品を無料で借りることができる。 (ただし、内容や場所など調整あり)	現状維持。 ただし、手続きの見直しは行う。

※以上の内容は、運営ルールブックに内容を追記して、次年度第1回総会で承認をえる。

【テーマ2】公園マネジメント会議の仕組みを再確認しよう！

公園マネジメント会議の仕組みを図にして再確認する。

- ・運営ルールブックの内容を図解したものが以下の図のとおり。

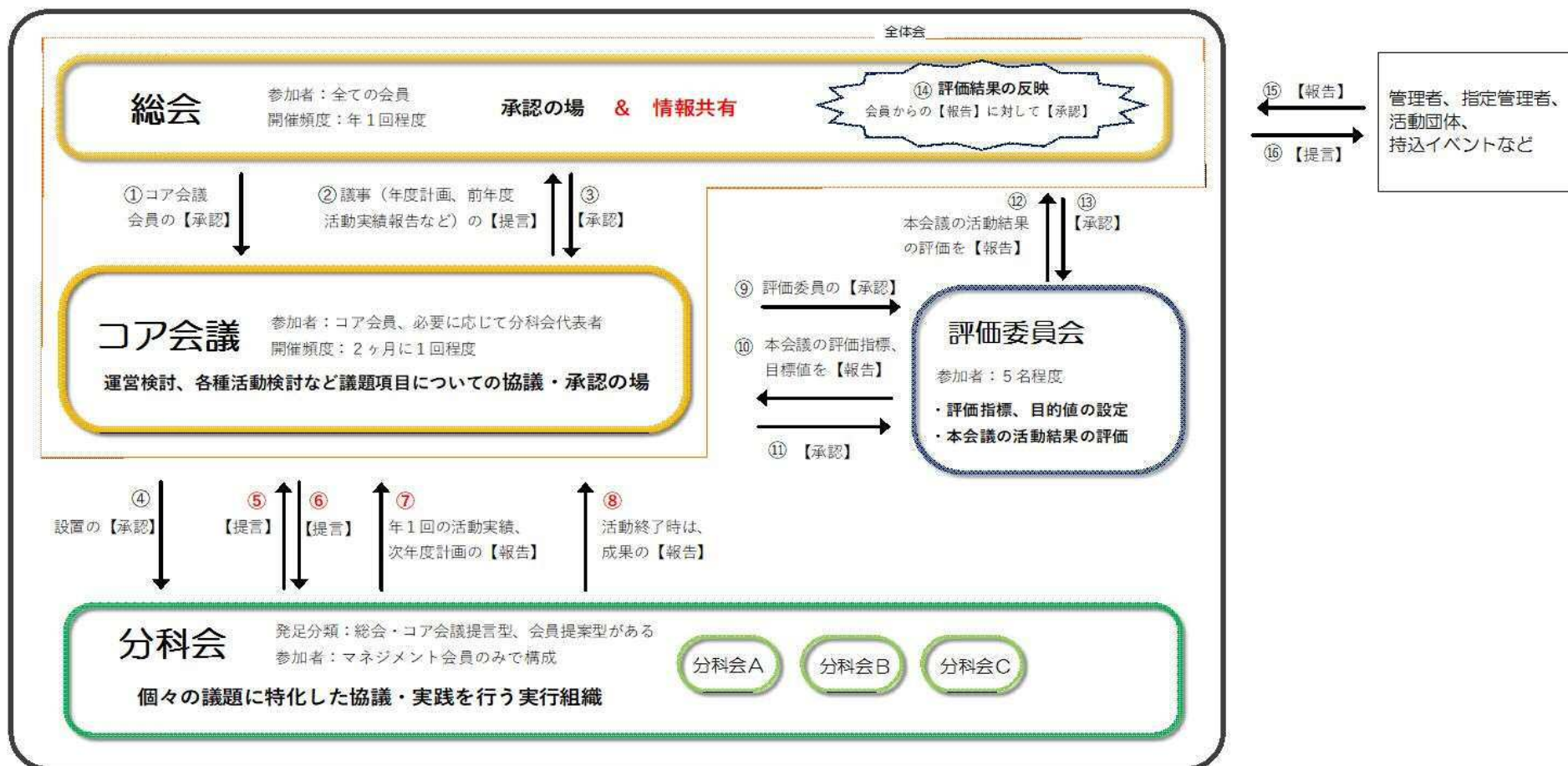
第1回コア会議では、現状と異なる部分や改善の余地がある部分に着目！！

- ・総会は、承認の場として機能に加え、「情報共有の場」でもある。
- ・分科会活動とコア会議の関係で、⑤、⑥、⑦、⑧は、どのくらいやっている！？
- ・承認の場、協議の場に対して、実践行動がもっと活性化すると良い。

＜プログラム＞

説明（5分）⇒ セッション2（15分）⇒ 全体共有2（10分）
テーブル毎にGW 各テーブル毎に発表

図 公園マネジメント会議の仕組み（運営ルールブックより）



横浜ゴム株式会社 新城工場

《愛・地球博記念公園内植樹、NPO法人どんぐりモンゴリ様、2012～》

NPO法人 どんぐりモンゴリ様と、
瀬戸市キッズアカデミー様・名古屋ガールスカウト様の、
ポット苗づくり体験や植樹のお手伝いを
2012年から続けています。

《名古屋ガールスカウト様、キャンプ場予定地・林床花園植樹、2013～》

キャンプ場予定地・林床花園他植樹

2012年12月27日	瀬戸市キッズアカデミー	110 本
2013年1月7日	瀬戸市キッズアカデミー	120 本
2013年10月6日	名古屋ガールスカウト	317 本
2014年1月6日	瀬戸市キッズアカデミー	500 本
～		
2019年3月27日	瀬戸市キッズアカデミー	40 本
2019年6月9日	名古屋ガールスカウト	60 本
合計		12331 本



《瀬戸市キッズアカデミー様、キャンプ場予定地植樹、2012～》



《名古屋ガールスカウト様、中津川市加子母水源の森植樹、2014～》



NPO法人 どんぐりモンゴリ様と岐阜県中津川市加子母の、中嶋工務店様所有の
山林に山栗を中心に植樹しています。

山の中腹より上に植えて動物たちの餌場をつくり
里に動物が下りてこないようにする事と、
3～40年後の岐阜県重要有形民俗文化財明治座の改修に向けて、
屋根に使用する栗の割り板用の木材確保が目的です。

地元の方たちが拾ってくれた栗を送っていただき、
工場ではポット苗を作って送り返したり、植樹にも参加しています。
現在3000本以上を植えていて、これからも続けて植樹して行くそうです。